

第3次 境港市男女共同参画推進計画 「女と男とのいきいきプラン」改定概要

1 計画改定の基本的な考え方

- (1) 市民意識調査の結果を反映させる。
- (2) 国や鳥取県の計画等も考慮した見直しを行う。
- (3) 「女性活躍推進計画」と一体化した見直しを行う
- (4) 市、市民、事業者、市民活動団体、教育関係者それぞれの役割と、施策を明記していることは、本市プランの特徴でもあり、引き続き同様の記載を行う。

2. 改定概要

(1) 市民意識調査結果を反映する

※調査結果に基づき、現在の課題と捉えるべき点

① 男女共同参画に関する広報活動の強化

市条例、市計画、市男女共同参画センターなどの認知度が低い

② 男女共同参画に関する様々な分野での啓発活動

「男女の地位が平等か」の間に、「男性が優遇」の割合が高い。男女の認識も違う。
「施策・方針決定等への女性参画」は「進んでいない」の割合が多い。

③ 男性にとっての男女共同参画の理解を促進

「男性の家事・育児等への参加のために必要なこと」として「男性自身の抵抗感をなくす」「男性が参加することの評価を高める」等の割合が高い。

④ 高齢者、子育て家庭、介護の必要な家庭など、誰もが安心して暮らせる環境づくりの促進と子どもの男女共同参画の理解の促進

「男女共同参画社会の実現のために行政が取りくむべきこと」の間に、「施設サービスの充実」「保育所の整備」「講座や広報の充実」「働き方の見直しの啓発」などの割合が高い。

⑤ 安心して仕事ができる職場環境づくり（ワーク・ライフ・バランス）の推進

「女性が職業を持つことについては」、「子どもができてみずっと続ける方が良い」との回答が40%以上。

「仕事をしている理由」は「生計を維持する」が高い。

「理想とする割合」は仕事40～45%、生活60～55%が男女共に高い。

「子育てに必要な支援」は「保育サービス」「地域の子育て支援」「経済的支援」

「働ける環境」が高い。

「親の介護は主に誰がしたら」は「同居の家族全員で」「介護施設職員」の順。

(2) 国や鳥取県の計画等を考慮

※国・県の計画の新設分野のうち、現計画に追加が必要と考えられる点

① 男性、子どもにとっての男女共同参画

考え方

- ・男女共同参画の裾野を広げるため、男性やこれからの時代を担う子ども・若者世代に積極的にアプローチする。
- ・男女共同参画社会の形成は、社会にとっても男性にとっても重要であり、男性がより暮らしやすくなるものであることについての理解を深める。
- ・子ども一人ひとりが男女共同参画の理解を深めることは、子ども自身にとってのみならず、今後の社会全体における男女共同参画の推進にも繋がる。

② 高齢者、障がい者等が安心して暮らせる環境の整備

考え方

- ・高齢者人口に占める女性の割合は高いため、高齢者施策の影響は女性の方が強く受ける。
- ・障がいがあること等に加え、女性であることから複合的に困難な状況に置かれていることについて、人権尊重の観点から配慮が必要である。

③ 地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進

考え方

- ・一人ひとりが加わって「新しい公共」を創造し、地域力を高め、持続可能な社会を築くためには、地域における男女共同参画が不可欠である。
- ・男女共同参画についての意識啓発を更に進めるとともに、課題解決型実践的活動への移行を推進する。
- ・境港市男女共同参画センターの活性化などにより、すべての人にとって身近な男女共同参画を推進する。

(3) 「女性活躍推進計画」と一体化

※女性活躍推進法の基本原則にのっとり、女性の職業生活における活躍の推進に関する施策を策定し、実施する。

(4) 市、市民、事業者、市民活動団体、教育関係者それぞれの役割をわかりやすく明記する

(5) 用語の説明、修正をする。